



ひたち市民シアター

共に生きよう 石に守られたこの街で

ひたち市民劇

えち このまち 石の みらい

作・演出 豊田郁央

2026 年

2月7日 (土)

14:30 開場 15:00 開演

2月8日 (日)

11:00 開場 11:30 開演

全席指定

一般 2,800 円

中高生 1,000 円

小学生以下無料

チケット取扱

多賀市民会館 (0294-34-1727)

日立市民会館 (0294-22-6481)

日立シビックセンター (0294-24-7720)

主催

後援

協力

出演協力

問合せ

ひたち市民シアター実行委員会

日立市、日立市教育委員会、一般社団法人日立青年会議所、ケーブルテレビ JWAY

株式会社茨城新聞社、朝日新聞水戸総局、読売新聞水戸支局、毎日新聞水戸支局

産経新聞社水戸支局、株式会社 LuckyFM 茨城放送

公益財団法人日立市民科学文化財団

ひたちオペラ合唱団・日立市洋舞踊協会・日立市少年少女合唱団・日立第一高等学校生物部・H響アンサンブル

ひたち市民シアター事務局 (多賀市民会館内 0294-34-1727)

web サイト

Instagram



石は
ずっとこの街とともにあった。
さあ、石のこえに耳を傾けよう。
一緒に、旅に出ましょう



「石のこえ みらいのまち」と、ひたち市民シアターについて

主人公の佳純と、その母智絵は郷土歴史家の田谷に会い、その田谷に導かれるように古代カンブリア紀の奇妙な生き物たちから始まって、大甕の地主神、天津甕星カガセオ、水木の里人、水戸黄門徳川光圀、久原房之介、関右馬允、角弥太郎、そして小平浪平、さらに根本甲子男、吉田喜代子など、この日立にゆかりの人々の物語にふれていく。さて、佳純と智絵はどんな石の声を聴くことになるのか。

「石はね、自分にふれたもののすべてを憶えているんだ」

出演と制作スタッフは、公募で集まった7歳から80歳までのひたち市民シアターのメンバーと実行委員、総勢40名。それと日立少年少女合唱団、ひたちオペラ合唱団、H響アンサンブル、日立洋舞踊協会のダンサーの皆さん、さらにオペラソリスト大津香津子さんをお迎えしてお贈りする、歌と踊りと音楽も愉しめる、日立発の創作劇、ひたち市民シアター、記念すべき第1回公演。

若い人たちをはじめ、多くの人たちにぜひ見てほしい作品です。
どうぞ劇場へ足をお運びください。



電車でお越しの方

JR常磐線常陸多賀駅から徒歩10分

車でお越しの方

常磐自動車道 日立南太田ICから
20分(有料駐車場あり)